

富田林市
こどもの権利に関する
アンケート調査
結果報告書
(小学校低学年【小学校１年生～３年生】)



とんだばやし
こどもの
権利条例

令和７年３月
富田林市

目 次

I	アンケート調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の対象者・期間・方法・回答状況.....	1
3	報告書の見方	2
4	報告書について	2
5	全体から見える傾向	3
II	アンケート調査結果	5
1	回答者の属性（性別・学年）	5
2	「こどもの権利」を知っているか.....	7
3	大切だと思う「こどもの権利」	8
4	大人が自分の話を聞いてくれる	10
5	こどもの状況（自己肯定感：自分のことが好き）	13
6	自分の気持ちや言いたいことが言える.....	16
7	困っていること・相談相手	19
8	こどもの権利を広めるための方法.....	23
III	その他回答まとめ	25
IV	調査票（小学校低学年）	28

I アンケート調査概要

I 調査の目的

富田林市では「こどもの権利」を大切にするまちにしていくために、「こどもの権利条例」の制定をめざしています。

本調査は、市内に住んでいる・通学しているこどもを対象に、こどもの権利の認知度や現在のこどもの状況などを把握し、こどもの声を条例に反映するために実施しました。

調査結果は、以下に活用していきます。

- ・「こどもの権利条例」の制定に向けた基礎資料
- ・ 条例制定後の効果検証のための基礎資料
- ・ 「こども計画（※）」の策定に向けた参考資料

※「こども計画」とはこども基本法に基づき、こども大綱等を勘案し、各法令等に基づくこどもに関する計画等を一体のものとして策定する総合的なこども施策を定める計画のこと。

2 調査の対象者・期間・方法・回答状況

項目	こどもの権利に関する調査
対象者	富田林市内在住・在学の小学校１年生～小学校３年生
期間	令和６年１０月９日（水）～１１月２９日（金）
方法	WEB または紙による回答

回答状況	配布数	有効回収数	有効回収率
小学校１年生	780 件	531 件	68.1%
小学校２年生	769 件	528 件	68.7%
小学校３年生	795 件	536 件	67.4%
不明・無回答		11 件	
合計	2,344 件	1,606 件	68.5%

※協力学校数 （小学校 17 校）

※市立小学校の低学年は授業のなかで、アンケートを実施しました。

3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の文章や選択肢は、読みやすくするために漢字で記載しています。
- ◇本文中の設問の文章や選択肢は、簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの**第1位・第2位・第3位**に網掛けをしています。
- ◇「小学校高学年」および「中高生」は別に取りまとめたアンケート調査結果報告書から転載しています。

4 報告書について

【調査の設計】

調査の設問は、「こども1万人意識調査」※や先進市の調査を参考に「こどもの権利に関する条例検討委員会」による助言・意見をもとに作成しました。

※「こども1万人意識調査」とは2023年9月に（公財）日本財団が発表した調査です。一般のこどもたちの声をより広く聴くことで、日本のこども政策にこどもたちの意見を反映することなどをめざし、こどもたちにインターネットによる意識調査を実施されています。（「こどもの権利」に関する意識調査を含む）

【報告書の表記】

2023年4月に「こども家庭庁」が設置され、「こども基本法」が施行されました。こども基本法で使われているこどもの表記が「こども」であることから、本報告書においても「こども」の表記に統一しています。

調査票では、設問・選択肢はすべてひらがなで表記していますが、報告書は漢字で表記しています。

【性別による集計】

性別による集計は、男女で回答に差がある場合は報告書に掲載しています。

【自由記述の回答】

本調査における自由記述回答の一部は、意見をまとめたものを掲載しています。資料編は原文のまま掲載していますが、明らかな誤字・脱字等は修正等行いました。

5 全体から見える傾向

「こどもの権利を聞いたことがある」と回答した小学校低学年は 24.5%

こどもの権利を「聞いたことがある」と回答した小学校低学年は 24.5%でした。一方で、「聞いたことがない」、「わからない」は 74.8%でした（P7）。このことから、こどもたちにこどもの権利を知ってもらう必要があることが分かります。

また、こどもたちにこどもの権利を周知する方法として、小学校低学年は「ポスターを作る」が 48.8%、「動画を作る」が 44.2%、「学校で教える」が 43.8%と高い割合になりました（P23）。

大切だと思うこどもの権利では、「学校でいろんなことを知ること」が最も高い

大切だと思うこどもの権利では、「学校でいろんなことを知ること」が 72.9%と最も高くなっています。このほか、「自分の気持ちを言えること」が 69.9%、「将来の夢を持つこと」が 69.3%と高い割合となっており、他のすべての選択肢でも 60%を上回りました（P8）。

小学校低学年の多くがこどもの権利を大切に思っていることが分かりました。そのなかでも、「学校でいろんなことを知ること」、「将来の夢を持つこと」などの自分の成長につながる「育つ権利」や、「自分の気持ちを言えること」などの「意見を表す権利」を大切にしていることがうかがえます。

自分のことが「すごく好き」と回答した小学校低学年は 50.2%

「自分のことが好き」に「すごく好き」と回答した小学校低学年は 50.2%でした（P13）。学年別でみると、小学校 1 年生では 56.7%、小学校 2 年生では 52.3%、小学校 3 年生では 42.0%と、学年が上がるにつれて低い割合になりました（P14）。

また、「自分のことが好き」は学年だけでなく、性別によっても回答に差が見られ「男の子」より「女の子」や「答えたくない」が低い傾向が見られました（P6 のポイント①）。

大人が自分の話を聞いてくれると思うほど、「自分のことが好き」の割合が高くなる

大人が自分の話を「いつも聞いてくれる」と回答した小学校低学年の 89.0%が、自分のことを「好き」と回答しました（P15）。大人がこどもの話を聞くことで、こどもは自分のことを好きと思う気持ちが強くなる傾向が見られました。

また、大人が自分の話を「いつも聞いてくれる」と回答した小学校低学年の 77.3%が、自分の気持ちや言いたいことが「言える」と回答しました（P18）。

さらに、自分の気持ちや言いたいことが「言える」と回答した小学校低学年の 89.9%が、自分のことを「好き」と回答しました（P15）。このことから、大人がこどもの話を聞くことがこどもの自己肯定感の向上につながっていることが分かります。

「困っているときに聞いてもらう相手がいない」と回答した小学校低学年は 6.4%

今困っていることでは、「困っていることはない」と回答した小学校低学年は 53.5%でした（P19）。小学校 3 年生は 64.9%、小学校 2 年生は 52.1%、小学校 1 年生は 44.1%と、学年が下がるにつれて、「困っていることはない」と回答したこどもの割合が低くなっています（P20）。

また、「困っているときに聞いてもらう相手がいない」と回答した小学校低学年は 6.4%でした（P21）。小学校 3 年生は 4.9%、小学校 2 年生は 5.3%、小学校 1 年生は 9.2%と学年が下がるにつれて、「困っているときに聞いてもらう相手がいない」と回答したこどもの割合が高くなっています（P22）。

小学校低学年のおよそ半数は「困っていることがない」と回答した一方で、44.5%は何らかの困っていることがあると回答しており、また、困っていることを聞いてもらう相手が「いない」と回答したこどもが一定数いることが分かりました。さらに、学年が低いほどその割合が増える傾向が見られました。

総括（結果を踏まえて）

調査の結果、大人がこどもの権利を理解し、尊重することで、こどもの自己肯定感の向上につながるということが分かりました。「こどもの権利をこどもに伝えること」と「大人がこどもの話を聞くこと」が重要です。

そのため、市は富田林版「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こどもと大人の双方に、こどもの権利の周知を行い、市全体がこどもの権利を理解・尊重し、すべてのこどもの最善の利益を優先するまちづくりを推進する必要があります。

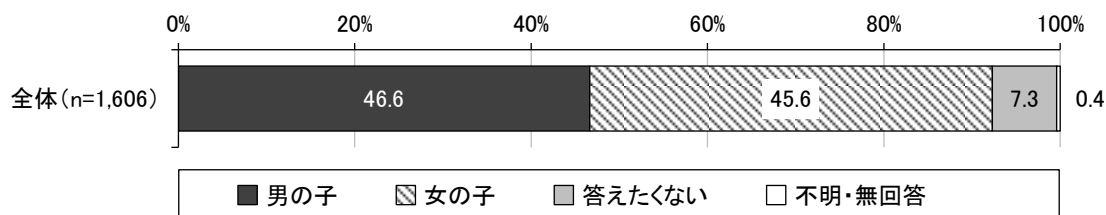
また、困っていることを聞いてくれる人がいないこどもが一定数、存在することが分かりました。この状況を改善する取り組みを検討しなければなりません。

Ⅱ アンケート調査結果

Ⅰ 回答者の属性（性別・学年）

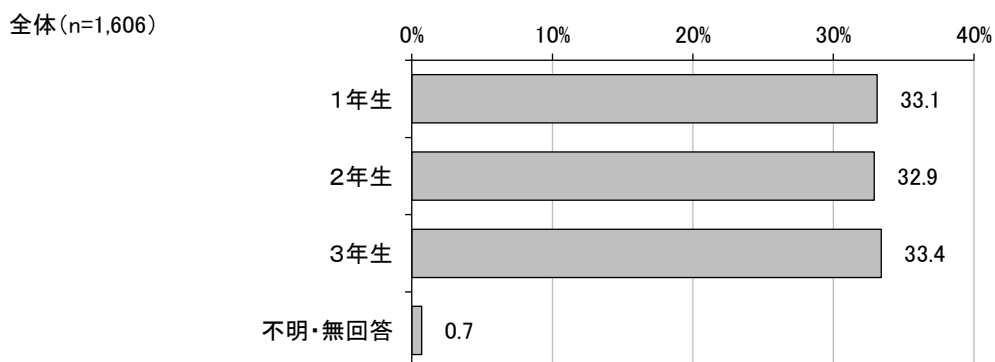
質問Ⅰ あなたは、男の子ですか、女の子ですか。（1つを選ぶ）

全体では「男の子」が46.6%と割合が最も高く、次いで「女の子」が45.6%、「答えたくない」が7.3%となっています。



質問Ⅱ あなたは、何年生ですか。（1つを選ぶ）

全体では「3年生」が33.4%と割合が最も高く、次いで「1年生」が33.1%、「2年生」が32.9%となっています。



「性別を答えたくないこども」への配慮

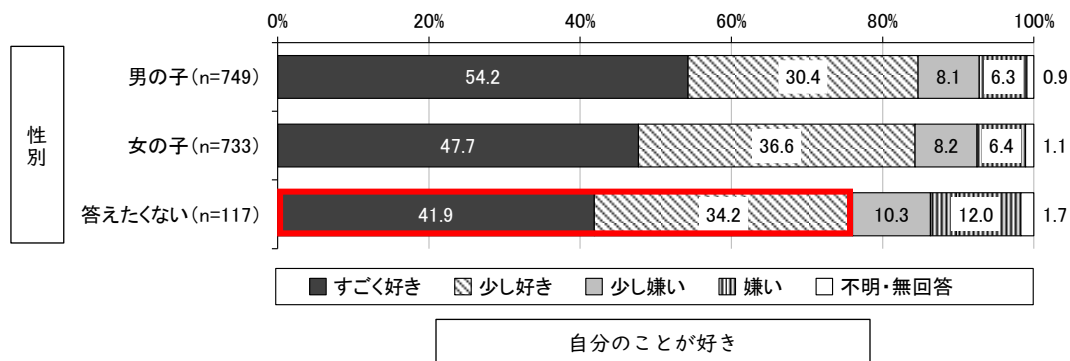


本調査では、「男の子」「女の子」のほかに「答えたくない」という選択肢を「性別を答えたくないこども」への配慮として設けました。※

調査の結果、「答えたくない」と回答したこどもは、「男の子」「女の子」と答えた人よりも「自分のことが好き」・「自分の気持ちや言いたいことが言える」が低いことが分かりました（P13・P16）。

※「性別を答えたくないこども」は、子どもの権利条約、こども基本法、さらには「地球上の誰一人として取り残さない」とするSDGsの理念を市政に取り入れた「富田林版SDGs取組方針」を踏まえて選択肢として設けました。

【質問6 あなたは、自分のことが好きですか。】



「困っていることを聞いてもらう相手（相談相手）」では、「答えたくない」と回答したこどもは、「男の子」・「女の子」よりも「この他の人」の割合が12.8%と高くなっており、友達など身近な人へ相談する割合が低い結果となっています（P22）。

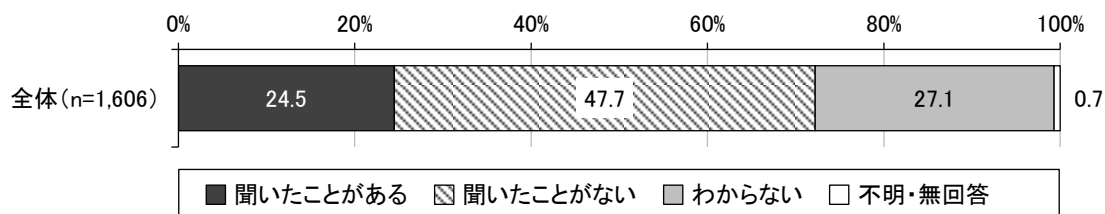
【質問9 あなたは、困っていることを、だれに聞いてもらいますか。】

単位：%		うん、おだい、おちのさん（おきよさ）	友達	学校の先生	この他の人	いない	不明・無回答
全体 (n=1,606)		81.8	41.0	42.2	6.8	6.4	1.0
性別	男の子 (n=749)	79.3	40.3	42.5	6.5	8.1	0.8
	女の子 (n=733)	84.4	42.3	41.9	6.1	5.0	0.8
	答えたくない (n=117)	82.1	38.5	43.6	12.8	4.3	1.7

2 「こどもの権利」を知っているか

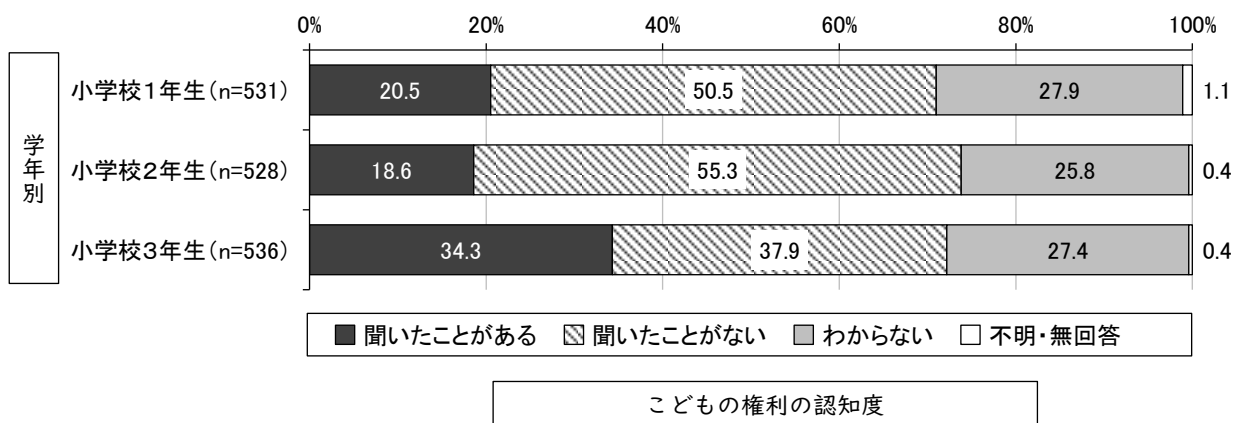
質問3 あなたは、これまでに「こどもの権利」という言葉を聞いたことがありますか。
(1つを選ぶ)

全体では「聞いたことがない」が47.7%と割合が最も高く、次いで「わからない」が27.1%、「聞いたことがある」が24.5%となっています。



質問2 学年別×質問3 こどもの権利の認知度

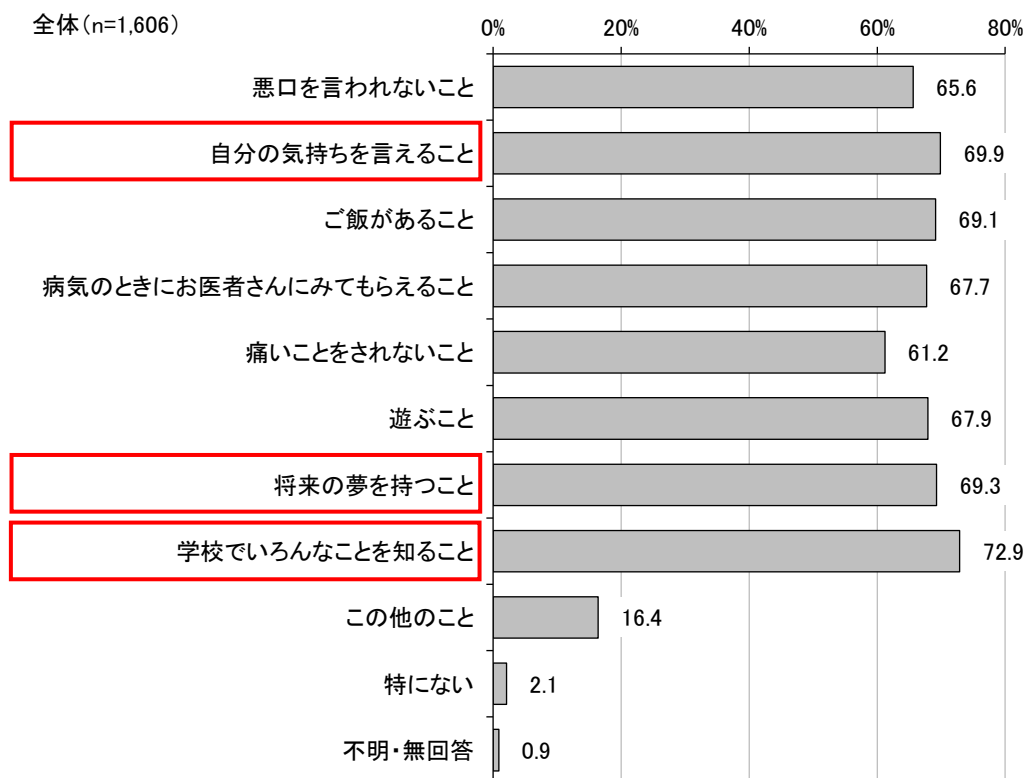
学年別で見ると、すべての学年で「聞いたことがない」が割合として最も高くなっており、次いで小学校1～2年生では「わからない」、小学校3年生では「聞いたことがある」となっています。すべての学年で「わからない」が20%を上回っています。



3 大切だと思う「こどもの権利」

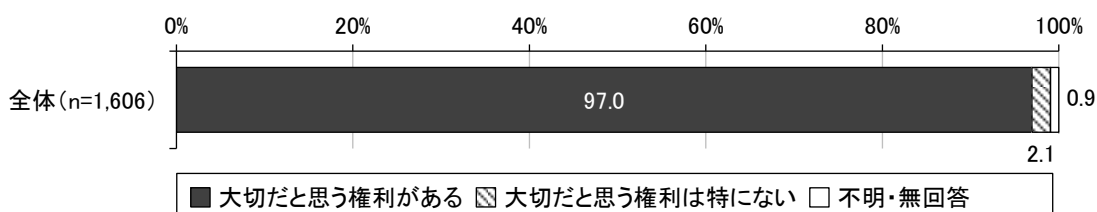
質問4 こどもには下にあるようなことが守られる「こどもの権利」があります。あなたが、大切だと思うことを選んでください。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「学校でいろんなことを知ること」が72.9%と割合が最も高く、次いで「自分の気持ちを言えること」が69.9%、「将来の夢を持つこと」が69.3%となっています。



参考

全体として「大切だと思う権利がある」と回答した人は97.0%、「大切だと思う権利は特にない」が2.1%となっています。



質問1 性別、質問2 学年別、質問3 こどもの権利の認知度×質問4 大切だと思う「こどもの権利」

性別で見ると、男の子では「遊ぶこと」、「学校でいろんなことを知ること」、女の子では「学校でいろんなことを知ること」、「自分の気持ちを言えること」、答えたくないでは「遊ぶこと」「将来の夢を持つこと」「学校でいろんなことを知ること」の割合が最も高くなっています。

学年別で見ると、小学校1～2年生では「学校でいろんなことを知ること」、小学校3年生では「自分の気持ちを言えること」の割合が最も高くなっています。

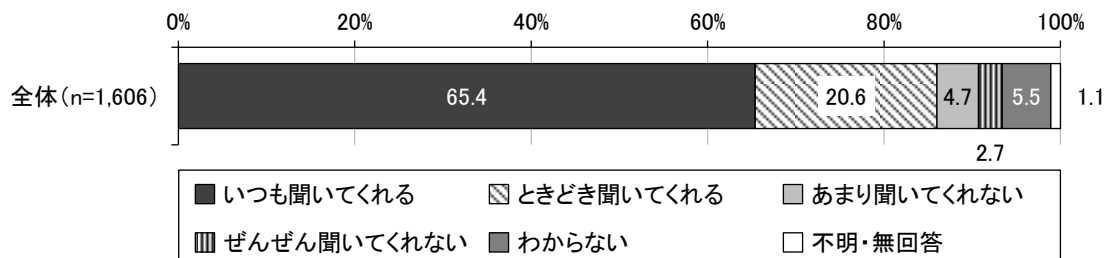
こどもの権利の認知度で見ると、すべての選択肢で「学校でいろんなことを知ること」の割合が最も高くなる一方で、こどもの権利について「聞いたことがある」と回答した人は「自分の気持ちを言えること」も同様に最も高くなっています。

単位：%		悪口を言われないこと	自分の気持ちを言えること	ご飯があること	病に気のないときにお医者さんと	痛いことをされないこと	遊ぶこと	将来の夢を持つこと	学校でいろんなことを知ること	この他のこと	特になし	不明・無回答
全体(n=1,606)		65.6	69.9	69.1	67.7	61.2	67.9	69.3	72.9	16.4	2.1	0.9
性別	男の子(n=749)	66.1	67.6	68.5	65.6	61.0	70.2	68.5	70.0	14.8	2.7	0.8
	女の子(n=733)	65.3	73.1	69.8	70.3	61.1	65.3	70.3	76.4	17.3	1.5	0.5
	答えたくない(n=117)	66.7	65.8	70.1	67.5	65.0	71.8	71.8	71.8	21.4	2.6	0.9
学年	小学校1年生(n=531)	71.9	71.0	74.0	72.3	68.4	70.8	72.1	78.9	19.8	1.5	1.1
	小学校2年生(n=528)	61.7	66.7	66.7	66.9	56.6	66.1	68.8	70.3	16.1	3.0	0.4
	小学校3年生(n=536)	63.8	72.6	67.2	64.4	59.1	67.5	67.7	70.0	13.4	1.9	0.4
権利認知	聞いたことがある(n=393)	67.7	73.0	70.5	67.4	62.8	69.2	67.2	73.0	20.1	0.8	1.3
	聞いたことがない(n=766)	65.1	69.5	68.8	67.2	61.0	67.1	70.4	71.7	13.4	2.3	0.7
	わからない(n=435)	64.8	68.7	69.2	69.2	61.1	69.0	69.9	75.4	18.4	3.0	0.5

4 大人が自分の話を聞いてくれる

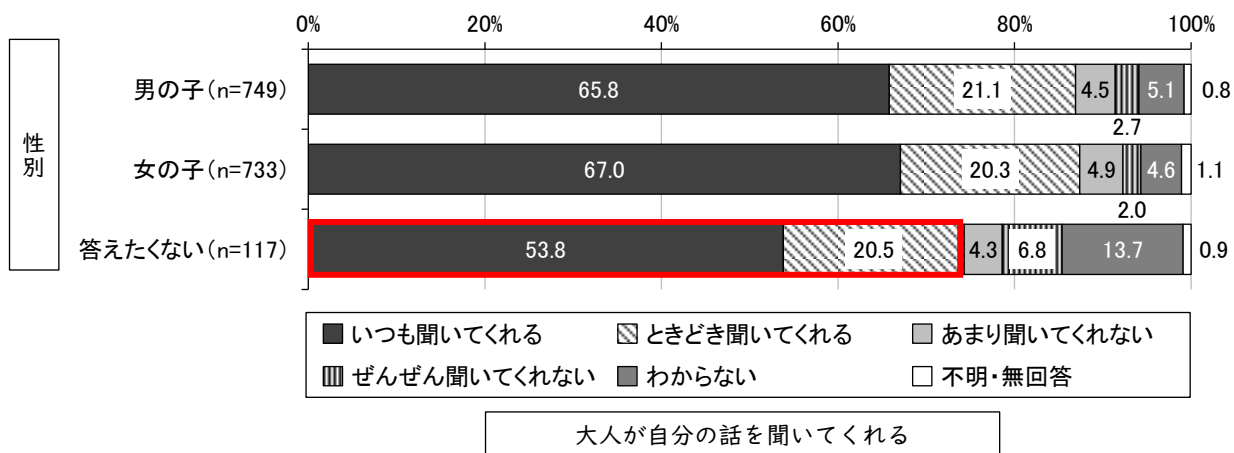
質問5 おうちの人や周りの大人は、あなたの話をよく聞いてくれますか。（1つを選ぶ）

全体では「いつも聞いてくれる」が65.4%と割合が最も高く、次いで「ときどき聞いてくれる」が20.6%、「わからない」が5.5%となっています。



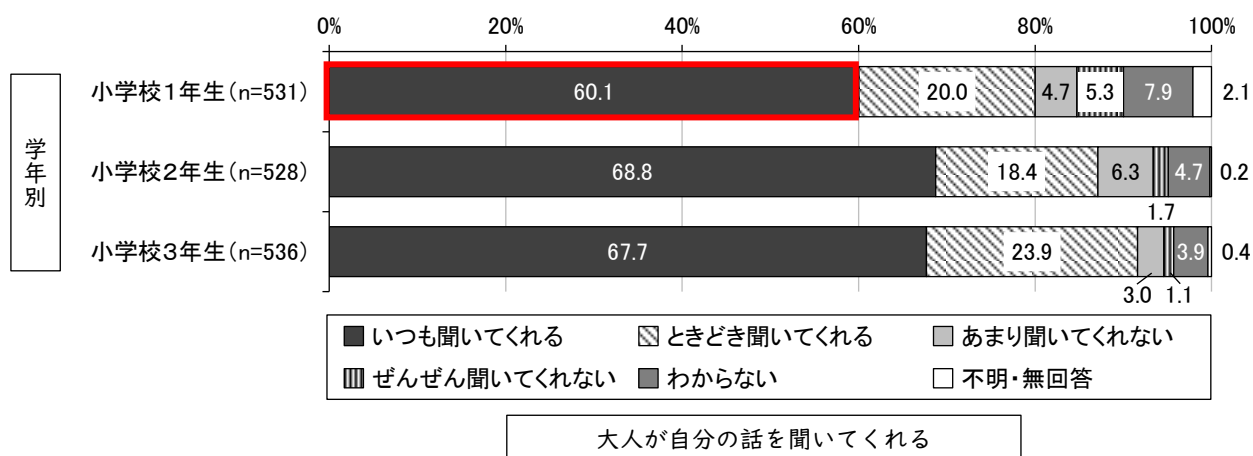
質問1 性別×質問5 大人が自分の話を聞いてくれる

性別で見ると、男の子では、「聞いてくれる」（いつも聞いてくれる＋ときどき聞いてくれる）が86.9%、女の子では87.3%である一方で、答えたくないでは、74.3%と10ポイント以上低くなっています。



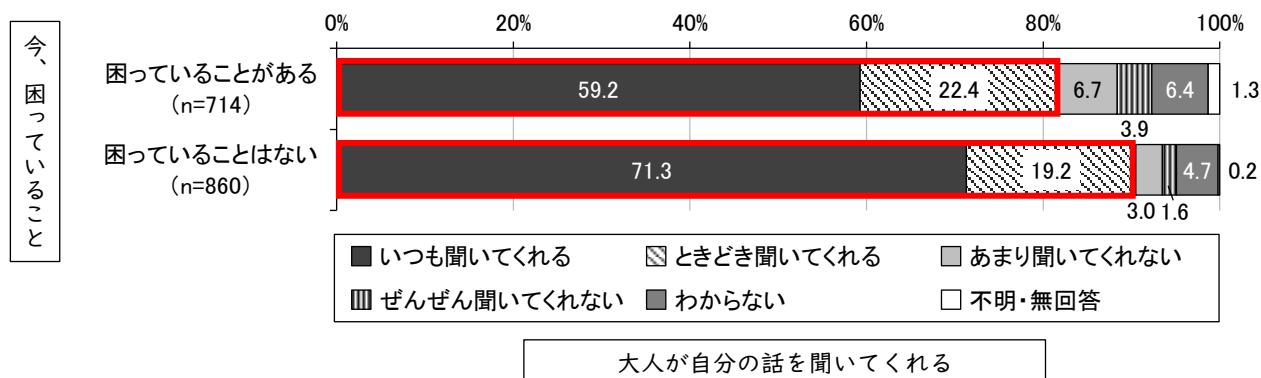
質問2 学年別×質問5 大人が自分の話を聞いてくれる

学年別で見ると、すべての学年で「いつも聞いてくれる」の割合が最も高くなっていますが、小学校1年生ではその割合がやや低くなっています。



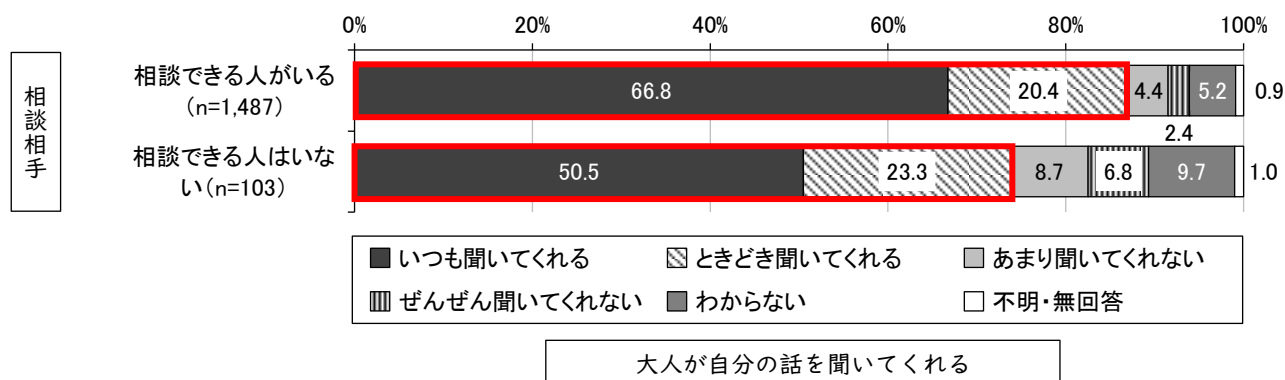
質問8 今困っていること×質問5 大人が自分の話を聞いてくれる

「困っていることがある」では、大人が自分の話を「聞いてくれる」（いつも聞いてくれる+ときどき聞いてくれる）が81.6%、一方で、「困っていることはない」では90.5%と8.9ポイント高くなっています。



質問9 相談相手×質問5 大人が自分の話を聞いてくれる

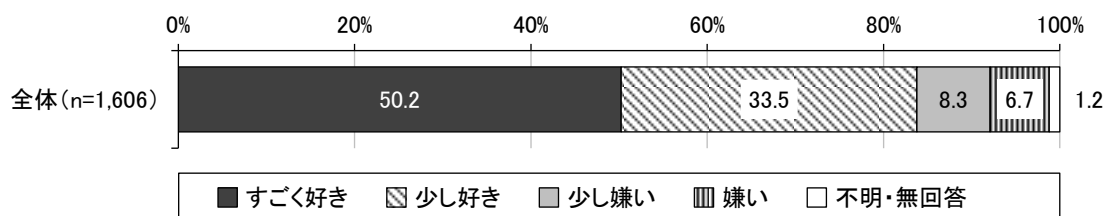
困っているときに「相談できる人がいる」では、大人が自分の話を「聞いてくれる」（いつも聞いてくれる+ときどき聞いてくれる）が87.2%、一方で、「相談できる人はいない」では73.8%と13.4ポイント低くなっています。



5 こどもの状況（自己肯定感：自分のことが好き）

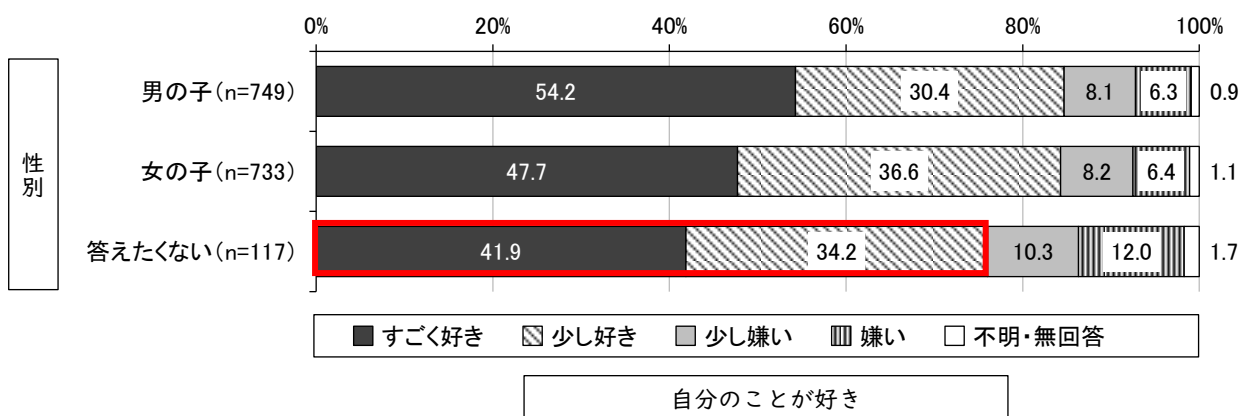
質問6 あなたは、自分のことが好きですか。（1つを選ぶ）

全体では「すごく好き」が50.2%と最も高く、次いで「少し好き」が33.5%、「少し嫌い」が8.3%となっています。



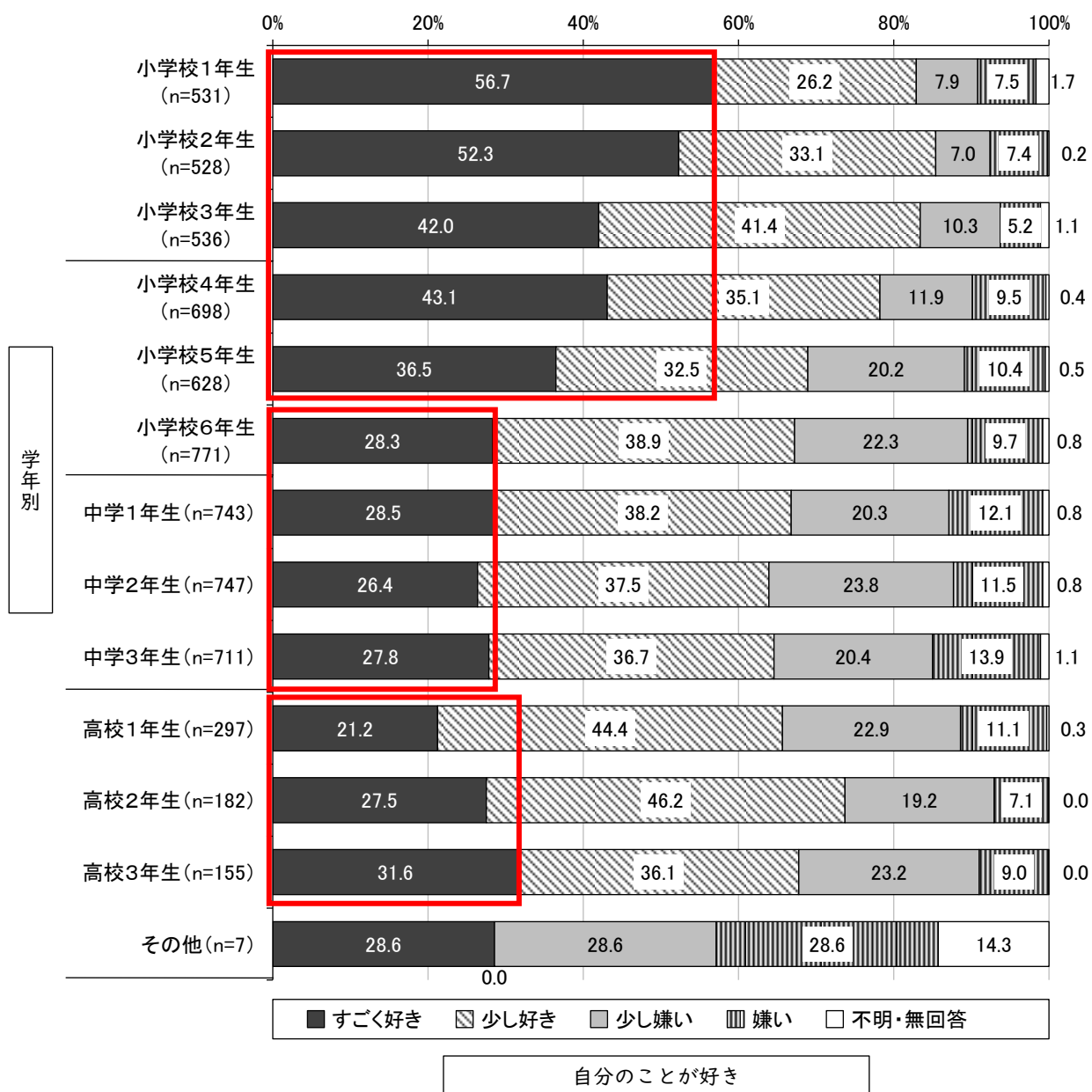
質問1 性別×質問6 自分のことが好き

性別で見ると、男の子では「好き」（すごく好き＋少し好き）が84.6%、女の子では84.3%である一方で、答えたくないでは、76.1%と8ポイント以上低くなっています。



質問2 学年別×質問6 自分のことが好き

学年別で見ると、小学校1～5年生では、「すごく好き（そう思う）」の割合が最も高くなっています。学年があがるにつれて、「すごく好き（そう思う）」の割合が低下する傾向が見られます。



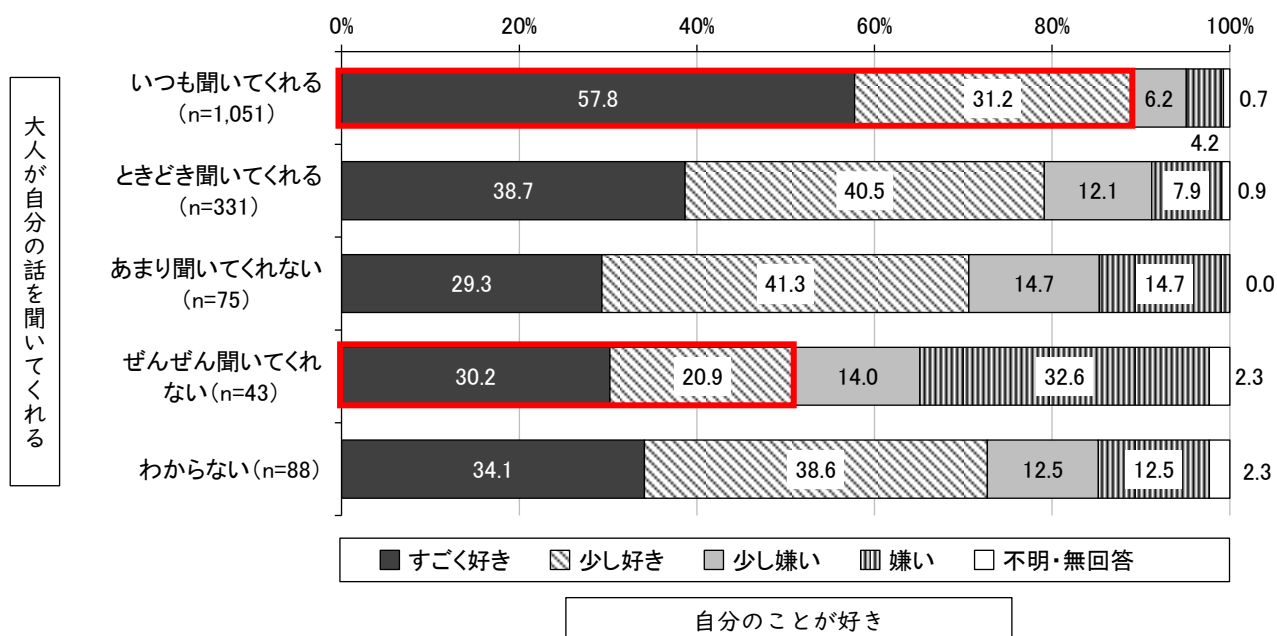
※小学校高学年・中高生：問6 あなたは、自分のことが好きだと思いますか。（1つを選ぶ）

選択肢「そう思う」、「まあそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の読み替えは「すごく好き」（そう思う）、「少し好き」（まあそう思う）、「少し嫌い」（あまりそう思わない）、「嫌い」（そう思わない）としている。

質問5 大人が自分の話を聞いてくれる×質問6 自分のことが好き

大人が自分の話を「いつも聞いてくれる」では、自分のことが「好き」（すごく好き＋少し好き）が89.0%と割合が高くなっています。一方で、大人が自分の話を「ぜんぜん聞いてくれない」では、自分のことが「好き」（すごく好き＋少し好き）が51.1%でした。

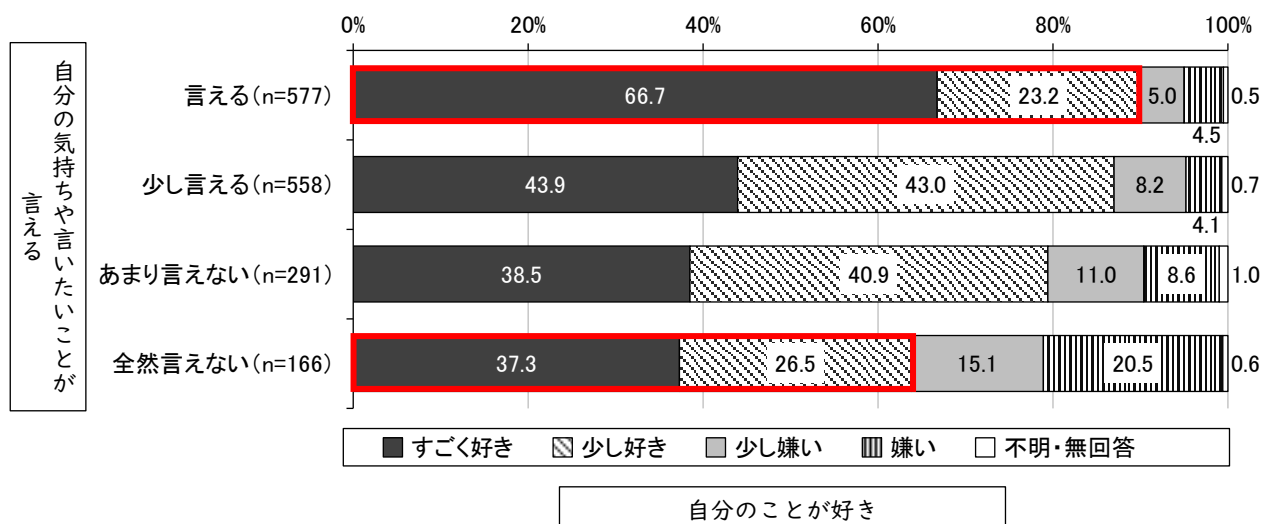
大人が自分の話を聞いてくれないほど、自分のことが「好き」の割合が低くなっています。



質問7 自分の気持ちや言いたいことが言える×質問6 自分のことが好き

自分の気持ちや言いたいことが「言える」では、自分のことが「好き」（すごく好き＋少し好き）が89.9%と割合が高くなっています。一方で、自分の気持ちや言いたいことが「全然言えない」では、自分のことが「好き」（すごく好き＋少し好き）が63.8%でした。

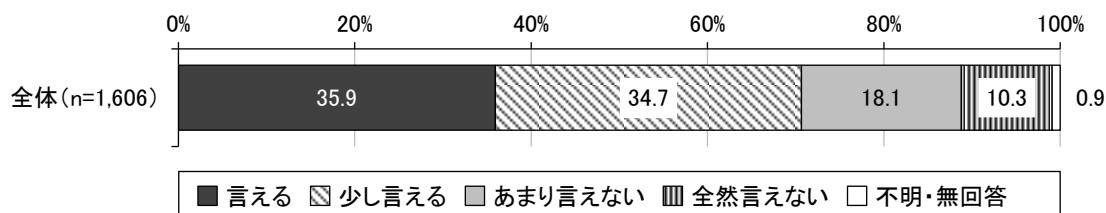
自分の気持ちや言いたいことが言えないほど、自分のことが「好き」の割合が低くなっています。



6 自分の気持ちや言いたいことが言える

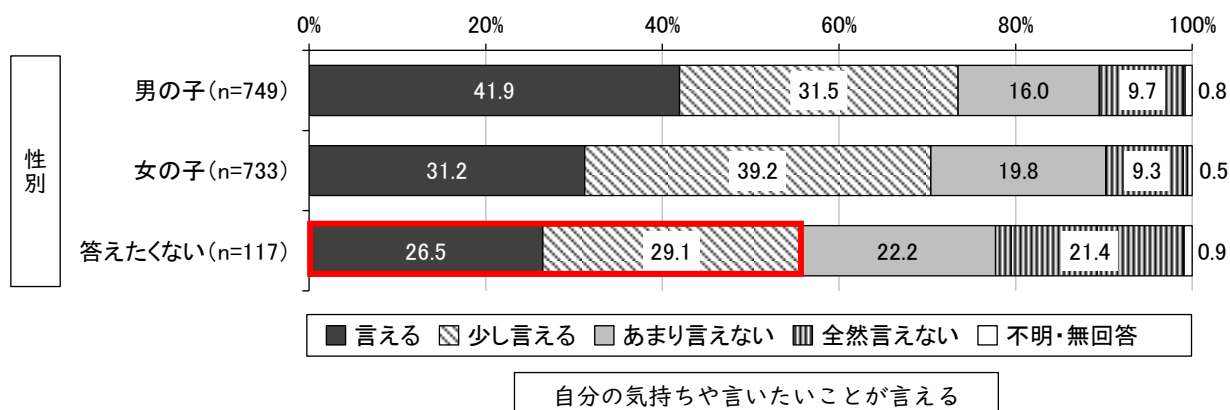
質問7 あなたは、自分の気持ちや言いたいことを言えますか。（1つを選ぶ）

全体では「言える」が35.9%と最も高く、次いで「少し言える」が34.7%、「あまり言えない」が18.1%となっています。



質問1 性別×質問7 自分の気持ちや言いたいことが言える

性別で見ると、男の子では「言える」（言える＋少し言える）が73.4%、女の子では70.4%である一方で、答えたくないでは、55.6%と14ポイント以上低くなっています。



ポイント
②

大人がこどもの話を聞くことの大切さ



本調査では、小学校低学年から中高生に「大人があなたの話を聞いてくれるか」という趣旨の問を設けました（小学校低学年質問5、小学校高学年・中高生問15・問18）。

この結果、「大人が自分の話を聞いてくれる」と回答した子どもほど、「自分のことが好き」、「自分の気持ちや言いたいことを相手に伝えることができる」と回答する割合が高くなりました（P15・P18）。

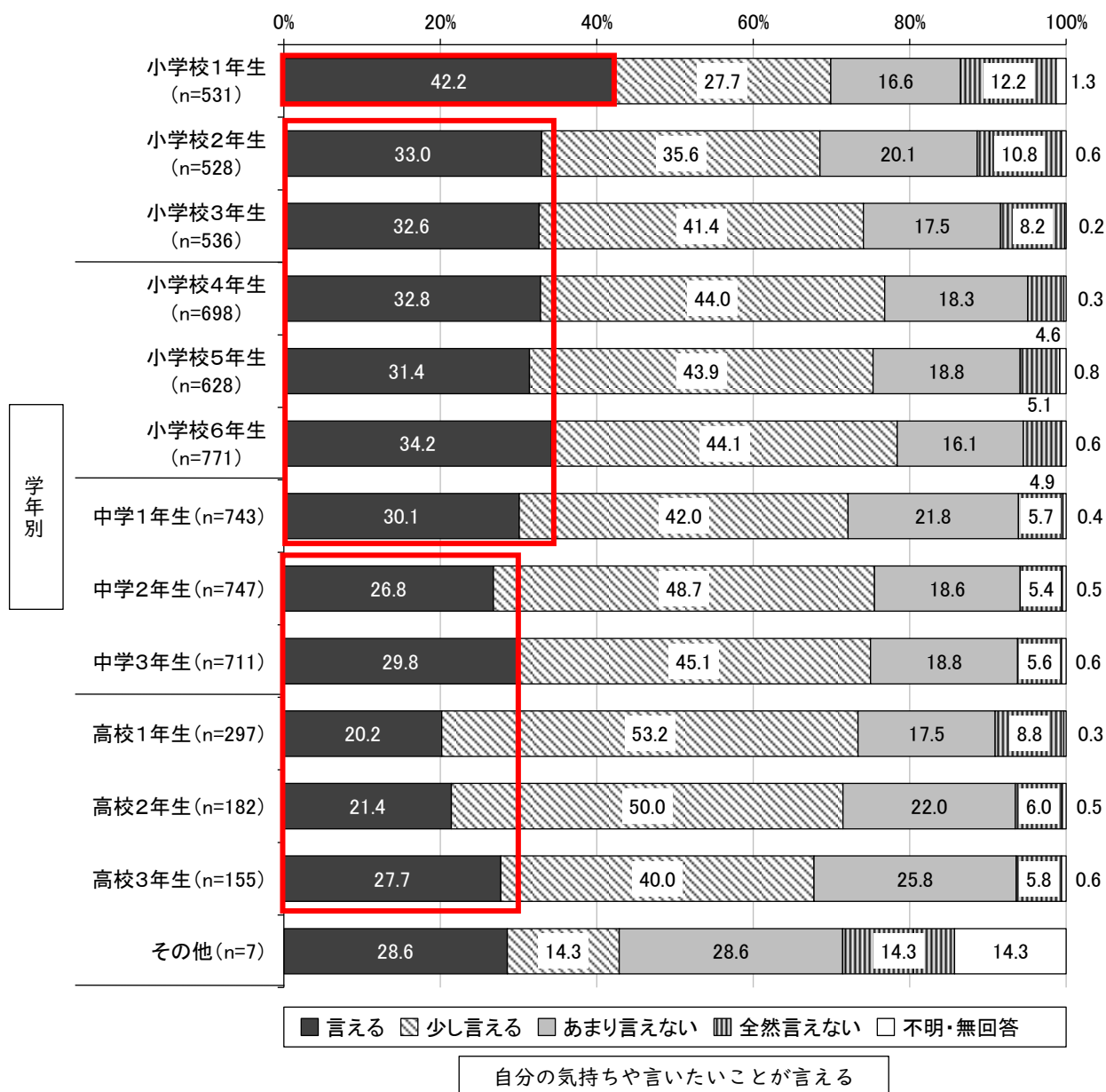
大人がこどもの話を聞くことは、「自分のことが好き」、「自分の気持ちや言いたいことを相手に伝えることができる」という自己肯定感の向上につながっている可能性があります。

自己肯定感とは「ありのままの自分」を肯定できる感覚のことです。自己肯定感が高いと、新しいことに挑戦したり、物事を進める力が生まれると考えられています。

こうしたこどもの自己肯定感を育てていくためにも、大人がこどもの話を聞くことは非常に大切です。

質問2 学年別×質問7 自分の気持ちや言いたいことが言える

学年別で見ると、小学校1年生では「言える（できている）」が40%台、小学校2年生～中学1年生が30%台、中学2年生～高校3年生が20%台と、学年が上がるにつれて割合が低下する傾向が見られます。



※小学校高学年：問8 あなたは、自分の気持ちや言いたいことを伝えることができますか。（1つを選ぶ）

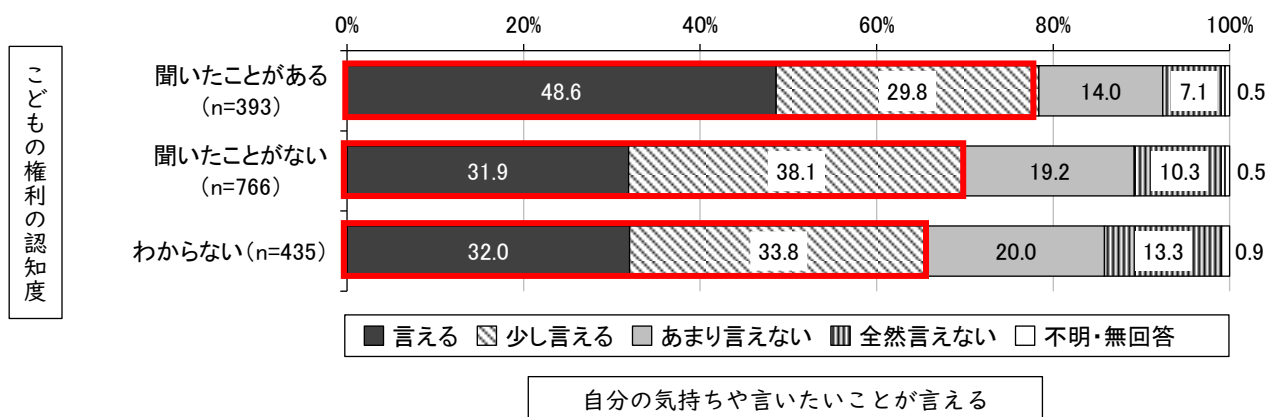
中高生：問8 あなたは、自分の考えを相手にはっきり伝えることができますか。（1つを選ぶ）

選択肢「できている」、「まあできている」、「あまりできていない」、「できていない」の読み替えは「言える」（できている）、「少し言える」（まあできている）、「あまり言えない」（あまりできていない）、「全然言えない」（できていない）としている。

質問3 こどもの権利の認知度×質問7 自分の気持ちや言いたいことが言える

こどもの権利を「聞いたことがある」と回答した人では、自分の気持ちや言いたいことが「言える」（言える＋少し言える）が78.4%と割合が高くなっています。一方で、「聞いたことがない」では70.0%、「わからない」では65.8%でした。

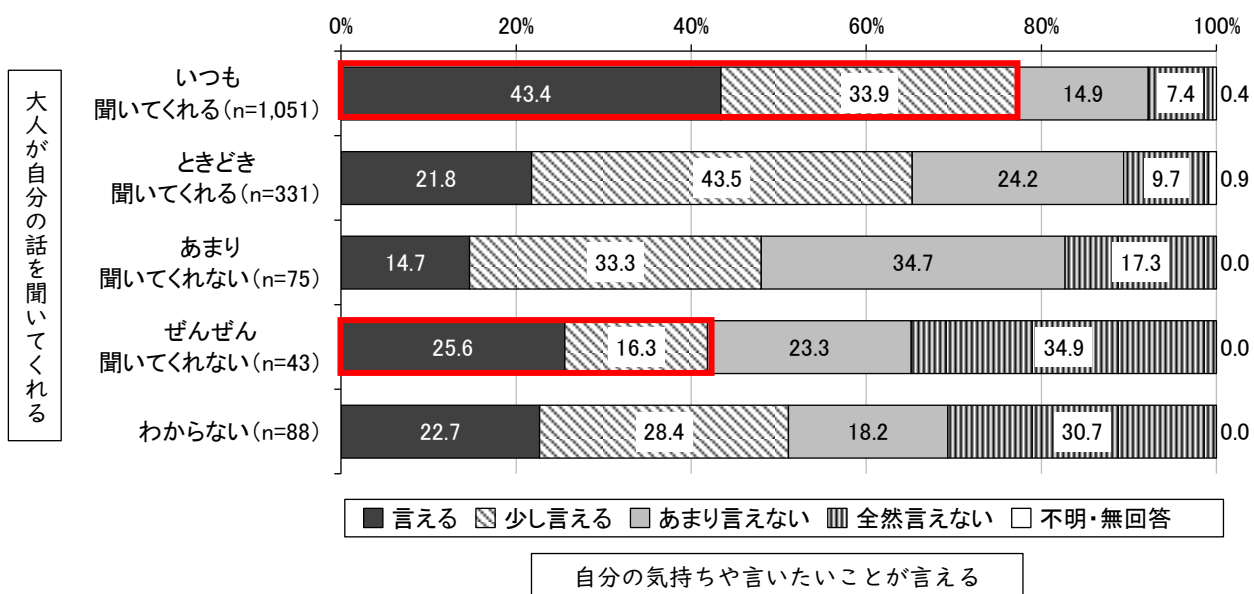
こどもの権利の認知度が高いと、自分の気持ちや言いたいことが「言える」（言える＋少し言える）の割合が高くなっています。



質問5 大人が自分の話を聞いてくれる×質問7 自分の気持ちや言いたいことが言える

大人が自分の話を「いつも聞いてくれる」では、自分の気持ちや言いたいことが「言える」（言える＋少し言える）が77.3%と割合が高くなっています。一方で、大人が自分の話を「ぜんぜん聞いてくれない」では、自分の気持ちや言いたいことが「言える」（言える＋少し言える）が41.9%でした。

大人が自分の話を聞いてくれないほど、自分の気持ちや言いたいことが「言える」の割合が低くなっています。

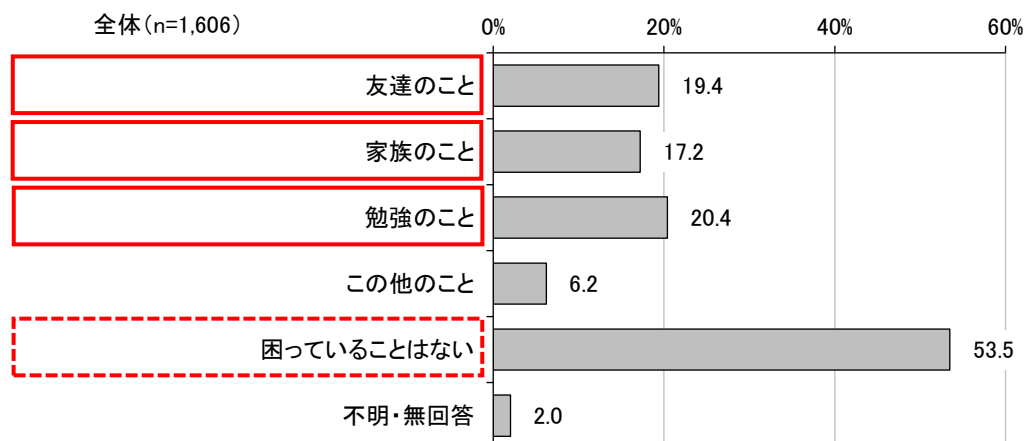


7 困っていること・相談相手

質問8 あなたは、今困っていることはありますか。(あてはまるすべてを選ぶ)

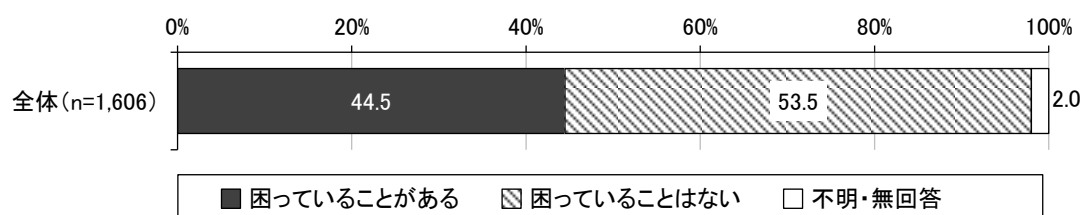
全体では「勉強のこと」が20.4%と割合が高く、次いで「友達のこと」が19.4%、「家族のこと」が17.2%となっています。

また、「困っていることはない」は53.5%となっています。



参考

全体として「困っていることがある」と回答した人は44.5%、「困っていることはない」が53.5%となっています。



質問2 学年別×質問8 今困っていること

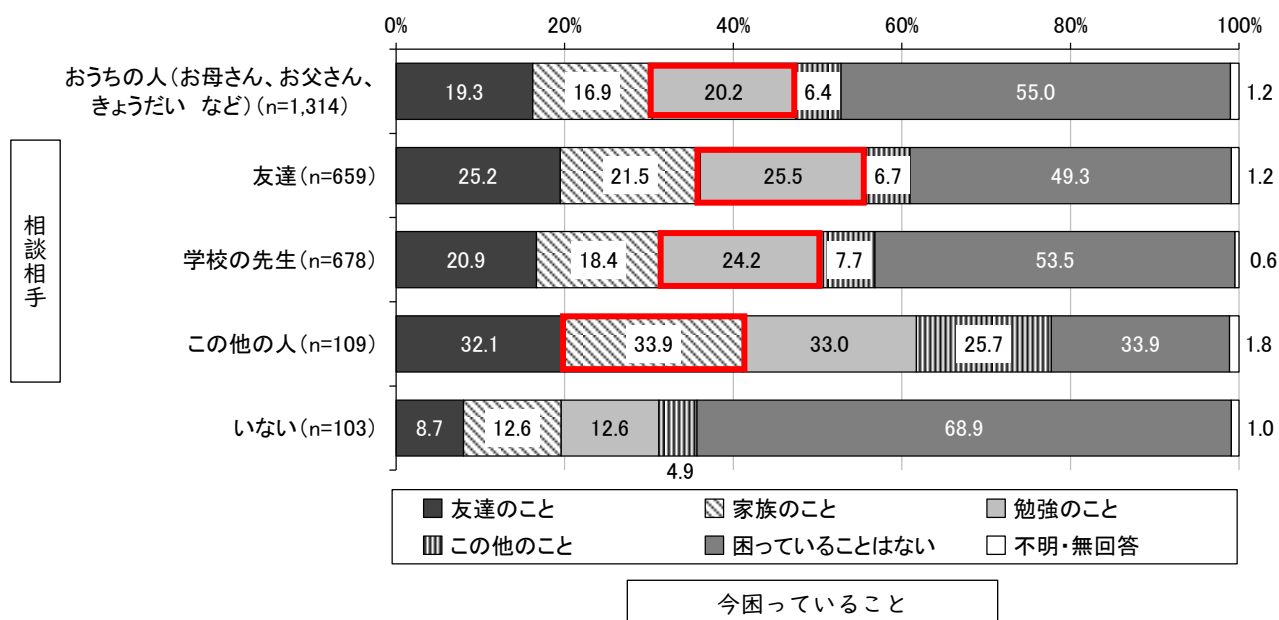
学年別で見ると、今困っていることの「勉強のこと」では小学校1年生が24.3%と最も高く、学年が上がるほど、その割合が低くなっています。「この他のこと」を除いた他の選択肢でも同様の傾向が見られます。

また、すべての学年で「困っていることはない」が最も高くなっており、学年が上がるほどその割合が高くなっています。

単位: %		友達のこと	家族のこと	勉強のこと	この他のこと	は困っていないこと	不明・無回答
全体(n=1,606)		19.4	17.2	20.4	6.2	53.5	2.0
学年	小学校1年生(n=531)	22.6	27.1	24.3	5.8	44.1	2.4
	小学校2年生(n=528)	18.6	16.5	23.1	7.2	52.1	1.3
	小学校3年生(n=536)	17.0	8.0	14.2	5.8	64.9	1.5

質問9 相談相手×質問8 今困っていること

「おうちの人（お母さん、お父さん、きょうだいなど）」、「友達」、「学校の先生」に困っていることを聞いてもらうと回答したこどもの今困っていることは、「勉強のこと」の割合が高くなっている一方で、「この他の人」では「家族のこと」が最も高くなっています。

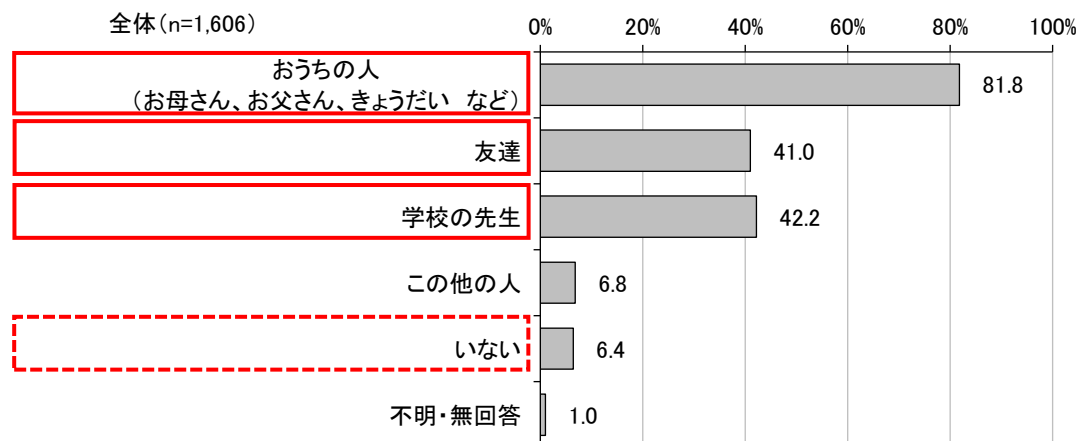


質問9 あなたは、困っていることを、だれに聞いてもらいますか。

(あてはまるすべてを選ぶ)

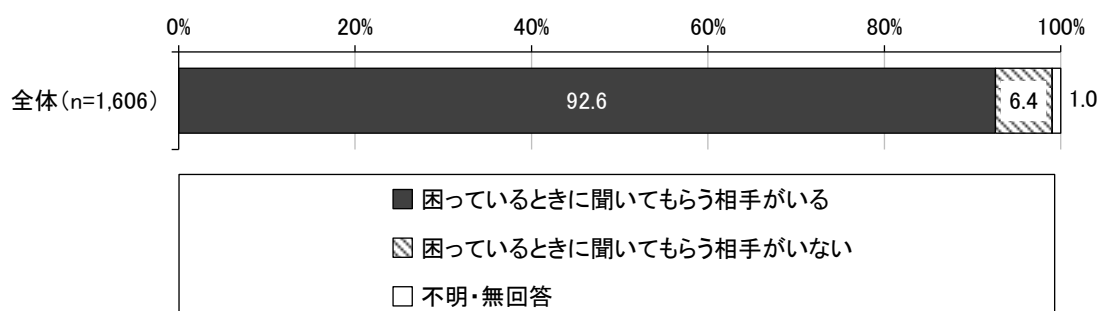
全体では「おうちの人（お母さん、お父さん、きょうだい など）」が 81.8%と割合が最も高く、次いで「学校の先生」が42.2%、「友達」が41.0%となっています。

また、「いない」が6.4%となっています。



参考

全体として「困っているときに聞いてもらう相手がいる」と回答した人は92.6%、「困っているときに聞いてもらう相手がない」が6.4%となっています。



質問１ 性別、質問２ 学年別×質問９ 相談相手

性別で見ると、男の子、女の子、答えたくないのいずれにも「おうちの人（お母さん、お父さん、きょうだい など）」が最も高くなっています。答えたくないでは、男の子、女の子よりも「この他の人」の割合が高くなっています。

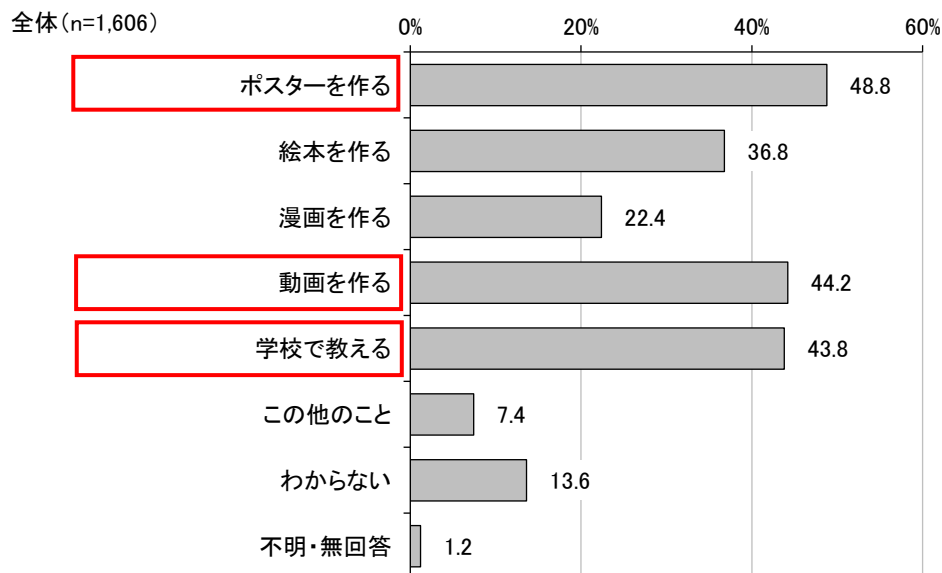
学年別で見ると、全ての学年で「おうちの人（お母さん、お父さん、きょうだい など）」が最も高くなっていますが、小学校１年生ではその割合はやや低くなっており、「いない」が9.2%と他の学年に比べて高くなっています。

単位：％		うん だ、 い お ち の な さ ん （ お き よ さ	友 達	学 校 の 先 生	こ の 他 の 人	い な い	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=1,606)		81.8	41.0	42.2	6.8	6.4	1.0
性別	男の子(n=749)	79.3	40.3	42.5	6.5	8.1	0.8
	女の子(n=733)	84.4	42.3	41.9	6.1	5.0	0.8
	答えたくない(n=117)	82.1	38.5	43.6	12.8	4.3	1.7
学年	小学校１年生(n=531)	74.4	37.5	40.3	7.5	9.2	1.7
	小学校２年生(n=528)	85.6	41.7	45.5	7.8	5.3	0.6
	小学校３年生(n=536)	85.8	43.8	41.6	5.2	4.9	0.4

8 こどもの権利を広めるための方法

質問 10 「こどもの権利」をみんなに知ってもらうために、どのようなことをすれば良いと思いますか。(あてはまるすべてを選ぶ)

全体では「ポスターを作る」が48.8%と割合が最も高く、次いで「動画を作る」が44.2%、「学校で教える」が43.8%となっています。



質問１ 性別、質問２ 学年別×質問１０ こどもの権利を広めるための方法

性別で見ると、男の子、女の子では「ポスターを作る」、答えたくないでは「学校で教える」が最も高くなっています。

学年別で見ると、小学校１年生では「動画を作る」、小学校２年生～６年生では「ポスターを作る」が最も高くなっています。

単位：％		ポスターを作る	絵本を作る	漫画を作る	動画を作る	学校で教える	この他のこと	わからない	不明・無回答
全体 (n=1,606)		48.8	36.8	22.4	44.2	43.8	7.4	13.6	1.2
性別	男の子 (n=749)	48.7	34.8	25.8	43.8	41.7	8.5	16.6	0.9
	女の子 (n=733)	49.8	39.3	18.8	44.5	45.6	6.4	10.8	1.4
	答えたくない (n=117)	44.4	35.0	23.9	47.9	48.7	6.8	12.0	0.0
学年	小学校１年生 (n=531)	40.1	40.7	29.2	43.5	37.5	9.2	14.7	1.5
	小学校２年生 (n=528)	46.4	31.8	19.1	43.0	45.1	7.0	16.1	0.6
	小学校３年生 (n=536)	60.3	38.4	19.0	46.6	49.8	6.2	10.1	0.9
	小学校４年生 (n=698)	63.0	34.7	26.9	45.1	49.7	1.7	12.0	1.1
	小学校５年生 (n=628)	61.8	34.6	29.5	48.4	51.9	2.4	13.5	0.3
	小学校６年生 (n=771)	56.5	31.1	32.7	45.5	50.1	1.9	12.2	1.4

※選択肢「この他のこと」の、小学校高学年調査での選択肢は「その他」

小学校高学年：問 24 あなたは、「こどもの権利」を広めるために、どのようなことをすれば良いと思いますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

Ⅲ その他回答まとめ

ここでは自由記述をまとめました。

質問4 こどもには下にあるようなことが守られる「こどもの権利」があります。あなたが、大切だと思うことを選んでください。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
家族のこと	15
家族といることができる・お父さんとお母さんがいること・家の人が自分の気持ちを受け止めてくれること など	
学校・勉強のこと	10
勉強が出来る事・宿題をすること・学校に行くこと など	
仲良くする	10
仲良くする・誰でも仲良く出来る事・友達と仲良くする など	
好きなことができる	9
好きなゲームができる・運動ができる・好きなことができる など	
悪口を言わない・暴力などをしない	9
人にいやがらせをしない事・いやがらせをしない・悪口をいわないこと など	
具体的なこどもの権利	8
戦争からの保護・別々の国にいる親と会える権利・差別されない事 など	
自分・相手を大事にする・大切にすること	7
みんなに自分の気持ちを伝える・自分を大事にすること・みんなのことを、大切にすること など	
友達のこと	7
仲間（友達）を作ること・友だちを大切にすること・おともだちができること など	
優しくする・優しくされる	7
優しく・大人に優しくしてもらうこと・みんなに優しくすること など	
いじめをしない	6
イジメない・友達をいじめないこと など	
元気に過ごす・笑顔で過ごす	6
みんなが元気に暮らせるように・元気に楽しく、将来の夢を持つこと・笑顔でいれる事 など	
その他	47
物を大事に・何でも知ること見ること・あいさつすること・ありがとうと言えること・正直さを持っていること・みんなを助けること・ルールを守ること・外こくの人でもいらんことをしたらあかん・水があること・誕生日、おもちゃをもらうこと など	

質問8 あなたは、今困っていることはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
自分のこと	13
自分のこと・病気（のどの事）・友だちに言ってる言葉が通じているか・おはようって言えない	

内容	件数
	など
習い事	10
習い事・サッカーの習い事の時に何か馬鹿にされてる？感じがする	など
学校・勉強のこと	8
うるさすぎて勉強集中できない・学童のこと・給食	など
家族のこと	4
おばあちゃんのこと・ママのお手伝い	など
嫌なこと・悪口	4
いじわるされる・嫌な事、変な事をされる事	など
遊びのこと	4
野球のこと・遊びの事	など
友達のこと	2
友達と時々ケンカをする	など
生活のこと	1
生活のこと	
いじめ	1
イジメのことが不安	
ない	1
無い	
その他	9
ゴミのこと・犬のお世話・周りの事	など

質問9 あなたは、困っていることを、だれに聞いてもらいますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
祖父母	21
おばあちゃんおじいちゃん・ひいばあちゃんおばあちゃんおじいちゃん	など
知り合い	7
サポーターさん・地域の人・友達のお母さん	など
親戚	6
いとこ・お姉ちゃんのこども	など
きょうだい	2
お兄ちゃんお姉ちゃん・お姉ちゃん	など
習い事の先生	2
プールのコーチ・習い事の先生	など
友達	1
友達 聞いてもらえる人は聞いてもらえる 聞いてもらえない人は聞いてもらえない	など
両親	1
母さんお父さん	

内容	件数
ない	1
困っていることはありません	
その他	9
いじわる・サンタさん	など

質問 10 「こどもの権利」をみんなに知ってもらうために、どのようなことをすれば良いと思いますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
広報	12
テレビ・番組・CM をつくる	など
自分から他の人に伝える	12
友達に言い合うことです・声をかける・自分の口でいう	など
PR するものを作る	7
こどもの権利の集会を作る・車を作る・大きなホールでこどもの権利の事を言う	など
手紙	5
手紙・そのことについて手紙を作る	など
ない	2
その他	12
野菜や果物をつくる事 人を助ける事・小さな子どもたちにもわかってほしい・保育園の先生	など

ポイント

③

自由記述と多様なこどもの意見



小学校低学年では、自由記述である「この他のこと」の回答が中高生や小学校高学年に比べて多くなりました。

特に質問4の「あなたが、大切だと思うこどもの権利を選んでください。」では、「ありがとうといえること」、「正直さを持っていること」、「みんなを助けること」、「ルールを守ること」など、多様な回答がありました。

他にも、「外こくの人でもいらんことをしたらあかん」、「水があること」、「誕生日、おもちゃをもらうこと」など、こどもならではの視点での回答もありました。

小学校低学年のこどもは意見を言えない、聞いても意味がないと考える人もいますが、大人と同じように、たくさんの意見があることが分かりました。

Ⅳ 調査票（小学校低学年）

とんだばやしし 「こどものけんり じょうれい」 をつくるためのアンケート

とんだばやしし では、「こどものけんり じょうれい」という きまりを つくろうとしています。

「みんなが、あんしんして たのしく すごせるまち」にするためです。

みんなの きもちや かんがえを よくきいて つくりたいので、ぜひ アンケートに きょうりよく してください。

✧✧ こたえたくないしつもんは こたえなくてもいいよ。

✧✧ なまえは かかないよ。

✧✧ だれが こたえたか わからないよ。



こたえかた(タブレットでこたえる)

1 タブレットをよういしてね。

2 <https://questant.jp/q/tondabayashi-kodomonokenri3>

をクリックしてね。

3 がめんがかわったら、しつもんこたえてね。

れい

しつもん2 あなたは、なんねんせい ですか。(ひとつ えらんでください)

1. 1ねんせい

2. 2ねんせい

3. 3ねんせい

とんだばやしし

「こどものけんり じょうれい」 をつくるためのアンケート

とんだばやしし では、「こどものけんり じょうれい」という きまりを つくろうとしています。
「みんなが、あんしんして たのしく すごせるまち」にするためです。
みんなの きもちや かんがえを よくきいて つくりたいので、ぜひ アンケートに きょうりよく
してください。

✧✧ こたえたくないしつもんは こたえなくてもいいよ。

✧✧ なまえは かかないよ。

✧✧ だれが こたえたか わからないよ。



こたえかた(かみでこたえる)

1 えんぴつ と このかみ を よういしてね。

2 しつもんを よんで、こたえのすうじに ○(まる) をしてね。

(ひとつえらんでください) は ひとつに ○(まる) をしてね

しつもん2 あなたは、なんねんせい ですか。(ひとつ えらんでください)

- ① 1ねんせい 2. 2ねんせい 3. 3ねんせい

(いくつでもえらんでね) は いくつ ○(まる) をしてもいいよ

しつもん8 あなたは、いま こまっていることは ありますか。

いくつでも
えらんでね

- ① ともだちの こと
② かぞくの こと
③ べんきょうの こと
④ このほかの こと ()
⑤ こまっている ことは ない

このほか の ことに ○(まる) を したときは () のなかに
おもったことを かいてね

とんだばやしし こどもせいさくか より

しゅもん！ あなたは、おとこのこですか、おんなのこですか。(ひとつ えらんでください)

1. おとこのこ 2. おんなのこ 3. こたえたくない

しゅもん2 あなたは、なんねんせい ですか。(ひとつ えらんでください)

1. 1ねんせい 2. 2ねんせい 3. 3ねんせい

しつもん3 あなたは、これまでに「こどものけんり」という ことばを きいたことが ありますか。(ひとつ えらんでください)

1. きいたことがある 2. きいたことがない 3. わからない

しつもん4 こどもには したに あるような ことが まもられる 「こどものけんり」 があります。あなたが、たいせつだと おもうこと を えらんで ください。

いくつでもえらんでね

1. わるぐちを いわれないこと
2. じぶんの きもちを いえること
3. ごはんが あること
4. びょうきのときに おいしゃさんに みてもらえること
5. いたいことを されないこと
6. あそぶこと
7. しょうらいの ゆめを もつこと
8. がっこうで いろんなことを すること
9. このほかの こと ()
10. とくがない

しつもん5 おうちのひとや まわりのおとなは、あなたのはなしを よく きいてくれますか。
(ひとつ えらんでください)

1. いつも きいてくれる
2. とときどき きいてくれる
3. あまり きいてくれない
4. ぜんぜん きいてくれない
5. わからない

しつもん6 あなたは、じぶんのことが すきですか。(ひとつ えらんでください)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. すごく すき | 3. すこし きらい |
| 2. すこし すき | 4. きらい |

しつもん7 あなたは、じぶんの きもちや いいたいことを いえますか。(ひとつ えらんでください)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. いえる | 3. あまり いえない |
| 2. すこし いえる | 4. ぜんぜん いえない |

しつもん8 あなたは、いま こまっていることは ありますか。

いくつでも
えらんでね

1. ともだちの こと
2. かぞくの こと
3. べんきょうの こと
4. このほかの こと ()
5. こまっている ことは ない

しつもん9 あなたは、こまっていることを、だれに きいてもらいますか。

いくつでも
えらんでね

1. おうちの ひと (おかあさん、おとうさん、きょうだい など)
2. ともだち
3. がっこうの せんせい
4. このほかの ひと ()
5. いない

しつもん10 「こどものけんり」を みんなにisseurうために、どのようなことを すれば よいとおもいますか。

いくつでも
えらんでね

1. ポスターを つくる
2. えほんを つくる
3. まんがを つくる
4. どうがを つくる
5. がっこうで おしえる
6. このほかの こと ()
7. わからない

しつもんにとたえてくれて ありがとう



いやなきもちに なったり、だれかに はなしを きいてほしいときに そうだんできるところです。
でんわで そうだんが できます。おかねは かかりません。

●『こどものじんけん110ばん』

でんわばんごう：0120-007-110

でんわが できる じかん：へいじつ 8:30～17:15

メール や ライン でも そうだん できます。

メール や ライン で そうだんする：<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>

●『チャイルドライン』

でんわばんごう：0120-99-7777

でんわが できる じかん：まいにち 16:00～21:00

チャット でも そうだん できます。

チャット で そうだんする：<https://childline.or.jp/>

●『24じかんこどもSOSダイヤル』

でんわばんごう：0120-0-78310

でんわが できる じかん：24じかん

富田林市
こどもの権利に関する
アンケート調査
結果報告書
(小学校低学年【小学校１年生～３年生】)

発行：富田林市こども未来部こども政策課
富田林市常盤町１番１号 市役所４階
TEL：０７２１-２５-１０００（内線２９１）
FAX：０７２１-２４-８９７６

発行年月：令和７年３月